

公益財団法人 日本感染症医薬品協会（旧 財団法人 日本抗生物質学術協議会）
設立70周年を迎えて

公益財団法人 日本感染症医薬品協会
理事長 炭山嘉伸

昭和21年（1946年）8月15日、厚生省とGHQのペニシリン生産対策協議会の決定によって、ペニシリン企業の連合体として日本ペニシリン協会が設立され、それが母体となり、ペニシリン生産、応用に関する研究の推進、厚生省諮問に応じる機関として、同年8月26日、日本ペニシリン学術協議会（後に日本抗生物質学術協議会に改称）が設立されました。

そこで本年8月が記念すべき70周年となることから、Vol. 69, No. 4 8月号を「70周年記念号」といたしました。

平成20年12月施行の「公益法人制度改革関連法」に基づき本協会は公益財団法人 日本感染症医薬品協会として新たな出発をいたしました。定款を変更し、本協会の目的を「人々を感染症の脅威から解放する」という理念に基づき、「(1) 対象疾患が、細菌、ウイルス等のすべての病原体による感染症であること (2) 対象物が、上記感染症の予防、診断及び治療に使用する医薬品等であること (3) 対象事業が、上記医薬品等に関わる研究開発の促進及び適正使用の普及を図るものであること」と明確にしました。本協会の目的を達成することで、社会に貢献したいと考えております。

日本感染症医薬品協会の設立70周年を迎えるにあたり、ご関係の皆様の、一層のご指導ご支援を賜りますようお願いを申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

年 譜

- | | |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1946年 8月 | 社団法人 日本ペニシリン協会設立（本協会の設立母体）
日本ペニシリン学術協議会設立 |
| 1947年 4月 | 機関誌「ペニシリン（Journal of Penicillin）」創刊 |
| 1947年 5月 | 財団法人 日本ペニシリン学術協議会認可 |
| 1948年 10月 | 機関誌名を「ペニシリンその他の抗生物質（Journal of Antibiotics）」に改称 |
| 1951年 1月 | 財団法人 日本抗生物質学術協議会に改称
（英名：Japan Antibiotics Research Association） |
| 1953年 1月 | 英文機関誌（Ser. A）刊行、和文誌（Ser. B）と分割 |
| 1967年 10月 | 英文誌の国際誌化を決定。第1回国際編集委員会開催 |
| 1968年 1月 | 第21巻第1号より、英文国際誌「The Journal of Antibiotics」刊行
和文誌は、名称を「The Japanese Journal of Antibiotics」に変更 |
| 1971年 12月 | 抗生物質会館竣工（品川区上大崎；現事務所） |
| 1987年 11月 | 住木・梅澤記念賞、第1回授与式開催 |

- 1996年 5 月 財団法人 日本抗生物質学術協議会設立50周年記念式典開催
- 1999年 11 月 日本抗生物質学術協議会奨励賞，第1回授与式開催
- 2001～2005年 日本抗生物質学術協議会・ファイザー感染症研究助成
(海外留学9名助成，海外短期派遣73名助成)
- 2006年 6 月 財団法人 日本抗生物質学術協議会設立60周年記念式典開催
- 2009年 1 月 英文国際誌「The Journal of Antibiotics」，Natureと出版提携開始
- 2011年 11 月 公益財団法人認定，公益財団法人 日本感染症医薬品協会に改称
- 2015年 6 月 The Japanese Journal of Antibiotics 電子ジャーナルをホームページに公開